

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第338号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年12月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS **中等部・高校合同体育祭開催**
吹奏楽部全国大会出場



準備体操



全日本吹奏楽コンクール



SSH成果報告会公開授業(科学文明論Ⅱサイエンスサロン)

第13回 中高合同体育祭開催

協力

体育祭実行委員長 3年2組 伊藤 真穂

雲一つない快晴の中、第13回中高合同体育祭は実施されました。中高合わせて計6学年が団結し、全体が一つになれたのではないのでしょうか。

今年は初めての種目として学年別対抗リレーを委員会で提案し、実現させることができました。初めてのものということで、当日まで不安はありましたが、学年のプライドをかけた熱い戦いが繰り広げられ、また多くの応援の声が飛び交い、それは私の想像を超えたものでした。

高校3年生にとっては最後の体育祭であり、中学1年生、高校1年生にとっては初めての体育祭です。それぞれ、いろいろな思いがあった一日だったと思いますが、3年生が中心になり協力し合い、学校全体で一つのを創り上げていました。

最後に、体育祭の開催にあたり、先生方や多くの部活動など運営として支えてくださった全ての方に感謝します。ありがとうございました。



体育祭実行委員長挨拶



選手宣誓

玉入れ



ムカデ競走



障害物競走



台風の目



中等部ダンス



中等部組体操



大玉ころがし



部活動対抗リレー



肩組競走

ローハイド



華のステージ



大玉おくり

中等部対抗リレー



学年別対抗リレー



表彰式



色別対抗リレー

結果 色別対抗	優勝	青組				
	準優勝	赤組				
	第3位	緑組				
色	赤	オレンジ	黄	緑	青	白
得点	570	530	400	550	580	490

2014年度学校運営方針

2014年度の学校運営方針重点目標達成に向けての本校の取り組みを紹介します。

本校の取り組み PART.2

全授業を公開し、研究授業・公開授業へ積極的に取り組む

「生徒による授業評価アンケート」の結果を受けて、授業改善の期間と数値目標を設定し、組織的な授業改善に努める

全教科において公開・研究授業を推進し、「教えるプロ」としての教員の資質向上を目指す

学園基礎学力定着度試験・学園高大連携総合試験結果を効果的に活用する

学校評価による教育活動の確認と改善を行う

教員の最も重要な仕事は授業です。ここにあげたのは、本校の教員全員が責任感と緊張感をもって授業に臨み、常に授業技術の向上に努めていくための取り組みです。

「できた、わかった」という喜びは、生徒の成長のエネルギーとなります。生徒にとって、その授業は一生に一度きりであるということを忘れず、常に一期一会の緊張感をもって授業に臨み、そのための教材研究や準備を惜しまない——これは、教員として当然のことだと考えます。

しかしそれだけでは十分ではありません。教材研究によって教員が知識や技能を得ること、「指導すること」は別物です。生徒の主体的な学びを引き出すように指導するためには、教員の知識や技能に加えて、授業そのものの技術が重要となります。

研究授業や授業公開は、教員が相互に授業技術を学び合うためには欠かせない取り組みです。また、たゆみなく授業を改善し、教員が授業技術を向上させていくには、組織的に「Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）」というPDCAサイクルを確立することが必要です。授業評価アンケートや学校評価、学園の試験結果の活用などはそのようなPDCAサイクル確立のための取り組みです。

創立70周年記念祝賀会を開催

11月8日（土）、本校の創立70周年記念祝賀会を開催いたしました。学園の周年記念行事は本来25年単位で開催していますが、今回は創立70周年を期して行った、さいたま総合グラウンド人工芝化事業にご助力いただいた方々へのお礼ということで、祝賀会を開催するはこびとなりました。

当日は、14時から本校食堂にて約100名のお客様にご出席いただき、本校約30名の教職員とともにお祝いの

宴を囲みました。ご出席いただいた後援会役員委員の方々をはじめ、部活動後援会、高輪会の役員および役員OB、OGの皆さんには、2012年に人工芝化したグラウンドの様子を映像でお披露目いたしました。

本校の前身である電気通信工業学校と電波工業学校が開校したのが1944年（昭和19年）、以来多くの方々に支えられ今日の東海大学付属高輪台高等学校・中等部があることを再確認できた一日となりました。

2015年度東海大学付属推薦入学合格者決定 329名の生徒が希望の専門分野へ進学します

今年度、東海大学推薦入学試験を受験して合格した生徒は329名であり、これは現3年生の約85%にあたります。進路指導部・高校3学年の先生方が一体となり、きめ細やかな指導を行った結果、多くの生徒が無事に希望した分野への進学が決定しました。

「未来への鼓動」ここから始まる明日への一歩

東海大学は、「教育」「研究」「社会連携」「国際連携」の4つの柱を大学の使命と位置づけ、人材育成に努めてきました。特に社会的実践力を有した人材育成のための具体的な施策として「自ら考える力」「集い力」「挑み力」「成し遂げ力」の「4つの力」の育成を教育目標に掲げ、その育成のために産学連携や地域貢献など多くのフィールドで学生が活躍しています。東海大学は全国に8キャンパスがあり、18学部77学科・専攻・課程をもつ全国規模のスケールメリットを生かして、多くのキャンパスに本校の3年生が進学を予定しています。

さて、今年度も一部の学科を除いたほとんどすべての学部・学科において、7月5日・6日に各自が将来進学することになるキャンパスで、推薦候補者説明会が実施されました。その際には、大学の先生による個別面談と、夏期休暇中の課題である「個別指導課題1」が提示されました。そして、10月からは大学の先生方による巡回指導があり、個別指導課題1の添削指導や大学入学へ向けての学習に関するアドバイスが行われております。この指導は、12月末まで続きます。

さらに、今後は「個別指導課題2」が提示されて大学への準備が確立されると共に、既に開始されているe-learningを利用した高校3年間の学習の総点検が実施されています。これらは知的好奇心を高めると同時に、大学入学までにどれだけ基礎学力を充実させておくべきかの確認になります。

本校では、12月に入ると学科別にクラスを編成し直した特別講座も開始します。入学前学習や特別講座に全力で取り組み、残り少ない高校生活を充実したものにしてください。



●推薦状況

東海大学・学部	人数
文学部	36
観光学部	30
政治経済学部	24
法学部	7
教養学部	41
国際文化学部	3
理学部	14
情報理工学部	5
情報通信学部	16
工学部	61
基盤工学部	1
海洋学部	15
農学部	3
体育学部	25
医学部	5
健康科学部	11
小計	297
東海大学短期大学部	10
東海大学医療技術短期大学	6
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	16
小計	32
総合計	329

栄光を星につなげ!!

吹奏楽部 第62回全日本吹奏楽コンクール

吹奏楽部顧問 畠田 貴生

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部は、10月26日に名古屋国際会議場センチュリーホールで行われた、第62回全日本吹奏楽コンクールに通算9度目の出場を果たし、銀賞を受賞することができました。残念ながら目標とした金賞ではありませんでしたが、部員たちは難曲に果敢に挑

み、素晴らしい演奏を吹奏楽ファンや応援して下さった保護者の皆様に披露することができました。これも、日ごろからご支援くださっている皆様方のおかげだと、生徒ともども感謝しております。本当にありがとうございました。

吹奏楽部部长 3年2組 原理沙

私たち吹奏楽部は、10月26日に名古屋国際会議場で行われた全日本吹奏楽コンクールに出場しました。

コンクールには制限時間があります。1団体が演奏できる時間は最大でも12分間です。この12分間のために私たちは1月から練習を重ねてきました。練習では、思うように成果が得られなかったり、意見の違いでぶつかりあうこともありました。時には逃げ出したくなることもありましたが、吹奏楽部の仲間やクラスの友達の手助け、先生方や家族の多大な

サポートのおかげで乗り越えることができ、また全力で練習に打ち込むことができました。

全国大会では銀賞を受賞することができました。目標としていた金賞ではありませんでしたが、名古屋の空に白鳥を羽ばたかすことができたと自負しています。

さらに上を目指していきたいと思っていますので、これからも私たち吹奏楽部をよろしく願っています。応援、本当にありがとうございました。

学年だより 中1

建学祭

10月11日・12日に建学祭を実施しました。中等部1年生は「学習発表」を行い、普段授業で学習している各教科の風景を写真で紹介したり、学習した内容をクイズ形式にして来校者に楽しんでいただいたりしました。生徒たちは各教科のグループに分かれ、それぞれのグループで創意工夫した展示を行いました。文化祭といった催し物で発表する機会は初めての生徒がほとんどで、良い経験ができたと思います。生徒たちの声を紹介します。

お客さんへの対応が忙しすぎた日

A組 新出 翔太

お客さんへの対応が、上手くできないときがありました。その時は、人が大勢来た時で、担当の人数も特に少ない時でした。一人ずつの対応がとても難しく、他のお客さんをずっと待たせるわけにもいかず、他のブースに行ってもらうことになってしまいました。このとき僕は、もう少し対応が上手だったら、もっと丁寧に他のブースを回ると良いということと言えたと、とても後悔しました。こんな後悔をしたのは1回だけではなく、3回ありました。お昼の時間帯と、特別なイベントがアリーナで行われるときと、終わり前の3回です。しかし、後悔してばかりではありません。帰ろうとした子どもが、手を振ってくれたのです。そのときは、なぜ手を振ってくれたのかはわかりませんでした。しかし、後から対応などが良くて振ってくれたのかもしれないとわかりました。来年も手を振ってもらえるような対応をしたいです。

お客さんへの気づかい

B組 佐藤 純夏

私の建学祭の班は保健体育に関して発表しました。準備の段階では男子がちょっと頼りなく心配でしたが、当日になるとダンスを続けて何回も踊ってくれたりして助かりました。結果的にはこのグループでよかったと感じました。

建学祭初日は緊張と不安でいっぱい、シフトも午前中の最初だったので、お客さんにどう接したらよいか心配なことばかりでした。でも、最初のお客さんには笑顔で接することができました。一日目の後半と二日目は自分も楽しく対応することができ、お客さんにも楽しんでもらえたようでした。また、お客さんの笑顔がいっぱい見られてうれしかったです。

ダンス発表の部分は、難しいという意見があったため一部分を変えましたが、もうちょっと簡単に踊れるように考えればよかったと少し後悔しています。来年は、どんなお客さんも楽しめるようなものを作り上げたいと思います。



準備をしっかりと



お客さんに丁寧に対応

学年だより 中2

建学祭

後期の始業式から間もない10月11日(土)と12日(日)の両日、記念すべき第50回建学祭を開催しました。この学年は、1年次と同様に各教科の学習成果を発表しました。

クイズや体験コーナーなど工夫を凝らした班も多く、昨年度より一回り大きく成長した生徒たちの姿が印象に残った今年の建学祭でした。

笑顔

A組 熊澤 里奈

今年の建学祭は、昨年よりクオリティーが上がったと思います。来場者数も昨年度より少しだけ多かったのかなと思いました。クラス発表のクオリティーが上がったことや、来場者数が増えたのは、生徒や先生方の頑張りのおかげだと思います。

私は、国語の班とピタゴラスイッチの班の2つを担当しました。どちらも担当して楽しかったのですが、私はどちらかというとピタゴラスイッチの方に思い入れがあります。

皆で一生懸命作品を作りましたが、2日間通してミスなく成功したのは結局1回だけでした。ですが、準備期間の2日間を含め、皆の笑顔が常に絶えなかったことがよかったと思いました。

私がこの4日間で学んだことは、作品を作っている人自身が笑顔でなければ、お客さんは笑顔になれないということです。来年も頑張りたいです。

総合演出

B組 尾崎 彩花

今年度は第50回目の建学祭でしたが、私は総合演出を担当しました。

総合演出の仕事は、全体のゲームの制度を決めたり、教室の飾り付けをしたりと、やらなければならないことがたくさんありました。放課後も最後まで残って仕事をしたりして、とても大変でした。

準備期間中には色紙2,500枚分の花を作ったり、各ブースのスタンプを作ったりと、とても疲れましたが、終わった時の達成感はすごかったです。

建学祭当日は、お客さんが思っていたよりたくさん来てくれて、とてもうれしかったです。また、私の両親も来てくれて、2年生の発表がよかったと言ってもらい、頑張ってたよかったなと思いました。ピタゴラスイッチの班も最後に成功して、皆の努力が報われて私もうれしかったです。

高校生の展示はあまり見ることはできませんでしたが、どの学年も去年より楽しい企画が多く、とても楽しい建学祭でした。



ピタゴラスイッチ 成功するか?



英語の回転寿司!?



カルタで社会!



電気回路を作ろう

学年だより 中3

～中等部最後の中高合同体育祭～

10月17日(金)、晴れ渡る空の下、中高合同体育祭を催しました。昨年度までのモチベーションとはやや異なっていたようです。来年度からの高校生活を見据えて思い出を書いてくれた生徒が多いように感じました。

体育祭について

A組 佐藤 蒼

今年の中高合同体育祭は、私たちにとって中等部最後の体育祭になりました。

昨年に比べ、今年は中等部の出場できる種目が増えて、より楽しめる体育祭となりました。一番心に残っているのは中等部2、3年の女子によるダンスと高校の部活動対抗リレーです。ダンスは私は他の人より覚えが悪く、途中から振りがわからなくなってしまうので、教えてくれる友達や周りの友達に迷惑をかけてしまっており、体育祭の当日はどうなるのか不安でしたが、何とか無事に踊れて安心しました。終わった後は、苦勞して練習してよかったと思ったし、教えてくれた友達にも感謝の気持ちでいっぱいになりました。目の前で高校生が見ていたのはとても恥ずかしかったけど、ダンスが終わった後にたくさん拍手をしてくれてとてもうれしかったです。

高校の部活動対抗リレーは、特に私たちの応援している目の前でダンス部の男子の先輩がブレイクダンスを披露してくれたことが印象に残っています。

私も高校生になったら、中学生に憧れられる先輩になれるようにいろいろなことに挑戦して頑張りたいと思います。

結果、青組は「優勝」と素晴らしい成績を収め、素晴らしい思い出になりました。

体育祭を終えて

B組 神尾 海斗

今年の体育祭は、白組でした。私の通っていた小学校では偶然6年間白組が優勝したので何となく良いイメージでした。まず最初に出た競技はムカデ競走です。練習では無理に足をそろえようとしてたりして転んでばかりだったけれど、特に何も決めずに勢いで走ったら、1位になりました。その後ひもがほどけないハプニングもありましたが楽しかったです。次は組体操です。これは中等部体育祭でも行ったので、大きなハプニングもなく、うまくできたと思います。そして最後に出たのはリレーです。練習ではA組に勝っていたけれど、本番は負けてしまい、2年生にも抜かれてしまい4位でした。良い順位ではないけれど、みんなで一生懸命走れたし、良い思い出になったのでよかったと思います。

今年は、僕たち白組は全体で5位で残念な結果だったけれど、たくさんの思い出ができたのでよかったです。



A組

終了後…
みんなで一緒に



B組



必死にバトンをつなぎました



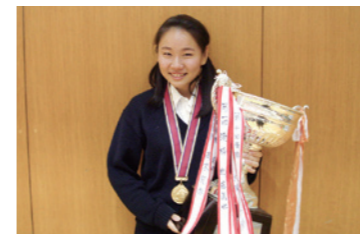
学年だより 高1

建学祭①

10月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり、建学祭を行いました。当初の天気予報を見事に裏切り、両日ともに天候に恵まれ大盛況と相成りました。今年度は、数えて50回目という節目の建学祭でもありました。

今月は、各クラスの建学祭クラス責任者に話を聞きました。

- 1組 小嶋 ひかる** 私たちのクラスは「リアル脱出ゲーム」という初の試みをしました。皆が新しいアイデアを考え、それを実現化させるのに多くの苦勞がありました。大成功を収め、クラスの絆を深め合うことができました。
- 2組 村田 康貴** 私は初めての建学祭を経験しました。私のクラスは「縁日」を計画しましたが、最初は出展できる状態ではありませんでした。しかし、お客さんの喜ぶ顔を見たいという一心で、最高のものができるように、皆で力を合わせて頑張りました。
- 3組 大田原 和史** 私は中等部時代から見てきた建学祭の経験を生かすために、責任者になってクラスをまとめるという役割に専念しました。準備の段階で、言い合いになったこともありましたが、最後は3組らしい仕上がりになったので、うれしかったです。
- 4組 山内 明奈** 4組は「ワッフル」の模擬店を出しました。「最初はできるのかな？」と不安でしたが、準備日から最終日までの間、装飾から販売に至るまで、クラス全員が一つにまとめることができました。最高の建学祭になりました。
- 5組 天野 未来** 私たちのクラスは「エアーパーカ」をやりました。小ホールで何度も何度もビデオを撮り直して大変でしたが、皆で一つの作品を作り上げられてよかったと思います。これからの生活も楽しんでいきたいです。
- 6組 川本 桃佳** 私たちのクラスは、今回の建学祭できゅうりとパイナップルを販売しました。初めての建学祭で模擬店ということもあり、わからないことが多くありましたが、クラス全員で協力し、大きな問題もなく、無事終わることができたのでよかったです。
- 7組 島崎 祐輔** 私たち7組は、準備期間中、いくつかの制約の中、皆が夜遅くまで残ってとても良いものを作ることができました。また、皆の宣伝効果も手伝って、金券を完売することができました。来年は今年以上のものにしたいです。
- 8組 津江 悠真** 私たちのクラスは縁日を出店し、約500人のお客様にきていただくことができました。それは、クラス全員が役割ごとに計画的に準備を進めたからに他なりません。クラスの皆で作る、結果を残すことができ、良い経験になりました。
- 9組 諸見里 巧** 一つの作品を作るのに苦勞することはたくさんありました。しかし、皆で協力して作品を作るのが好きなので、苦勞というよりも楽しい気持ちのほうが強かったです。完成した作品を見たとき、9組の一員で本当によかったと思いました。
- 10組 林 菜由** 最初は意見が合わないことも多く、まとまりもなく、このままで大丈夫が不安でした。しかし、クラスの雰囲気が徐々に良くなっていき、知財グランプリを受賞することもできました。来年はもっと良いものを作り上げたいです。



スピーチコンテスト優勝の浅倉彩夏さん



接客中(8組)



呼び込み中(9組)



接客中(2組)



接客の合間に(3組)



説明中(10組)

学年だより 高2

スポーツ大会について

10月28日(火)にスポーツ大会をさいたま総合グラウンドで行いました。
天候に恵まれ、生徒たちは一生懸命、楽しく競技に参加していました。

結果 優勝 3組 準優勝 1組 3位 2組・5組

3組 浅奥 聖香

今回のスポーツ大会で3組は優勝し、アリーナでのスポーツ大会に続いて連覇することができました。そしてこのことは私たち3組の団結力をさらに強めてくれました。私が1番うれしかったのはリレーです。リレーの決勝はクラス全員が応援してくれて、走っている間にもたくさんの声援が聞こえてきました。私は抜かされてしまったのですが、その後皆が巻き返してくれて、結果は逆転での1位でした。アンカーがゴールした瞬間、クラスの皆でゴールに集まり喜び合いましたが、その時にこのクラスが学年で1番団結力があるクラスなのだ確信できました。3年生になってもこの持ち前の団結力で3連覇、そして完全制覇を成し遂げていきたいなと思います。



ゴールにまっしぐら



真剣勝負です



クラス対抗リレー
スタート直前



狙うはホームラン



女子キックベース

学年だより 高3

建学祭・模擬店紹介!

10月11日(土)、12日(日)に開催された本校建学祭では、3年の各クラスはさまざまな模擬店を営業しました。
今号はその紹介です。1・2年生へのアドバイスもご参照ください。



クラスごとにさまざまな工夫が凝らされていました

1組 「18歳 ～塩焼きそば～」

材料が足らなくなるなどハプニングもあったけれど、全員で支え合って乗り越えたことで、さらにクラスの絆が深まりました。建学祭を通して、時間がないなか成功させるためには、クラス全員で知恵を絞る、それぞれが役割を果たさないといけないと改めて感じました。(石部愛奈)

2組 「うま水からのうま氷」

10月という寒いかわからない時期に販売するのは大きな賭けでした。準備が想像以上に大変でした。シロップなど売っておらず専門の店で買う必要がありました。氷は100円ローソンが安くお勧めです。火を使わないので安全で、慣れれば少ない人数でもできます。とても楽しく誰でもできるので、建学祭でやるにはお勧めです。(諸井佐和子・柳下実穂)

3組 「関たこ」

たこ焼きをたこせんべいに挟んで販売しました。たこ焼きもちゃんとつくりました。ド定番のものではないので、新鮮味があってよかったと思います。たこ焼きを上手に焼くには生地をレシピ通りに丁寧にすること、焼くときに油を多めに使い、火を強くすることで。クラスみんなで協力してやれてよかったです。(軽部美咲・藤井友香・若林 葵)

4組 「かわπ」

チョコレート&バナナ春巻・ソーセージ&チーズ春巻。今までの建学祭でなかったようなものをつくってみたくて、比較的作り方が簡単な春巻を選んだのですが、材料が多く、費用の計算に苦労しました。揚げ物なので油がはねることや高温なので火傷に注意しました。慣れれば色の変化で揚げるタイミングがわかるので、作りやすいと思います。(木内信之介)

5組 「肉巻きPARTY NIGHT」

肉巻きおにぎり。クラスに受験生がいるなかで一生懸命頑張るやることができました。みんなで試行錯誤しながら肉巻きおにぎりや装飾をより良いものにしました。調理に手間がかかるため、初日は販売数に調理が間に合わず返金になってしまいました。2日目には朝早くから集まって頑張りました。いい思い出ができてよかったです。(大森俊弥)

6組 「甘いぜベイベー!」

ベビーカステラ。食材の分量の調整や器材の調達など、実際にやってみて大変なことはたくさんありましたが、慣れてくると調理も楽しく、忙しさもあまり感じませんでした。クラス全員で協力して調理、販売ができたから、2日間で合わせて300枚の金券を売ることができたのだと思います。(松川来海)

7組 「チキッてんの?」

やきとりのもも・皮・ねぎま、変わりだねとして砂肝とタンを出しました。味つけにもこだわり、レモン汁やガーリックチップなどを付けられるようにしました。調味料も種類も増やしたので、受付と調理が大変でした。金券がなかったという声が多かったので、来年やるとしたら1日200セットくらい売ってください。(水上亜利紗)

8組 「俺のチョコバナナ」

ホワイトチョコとミルクチョコの2種類のチョコを使用し、棒にバナナをさすタイプと紙コップにバナナを入れるタイプの2種類で提供しました。2日間で金券500枚完売しました。バナナは試作や失敗も考えて多めに購入したほうがよいです。食材の保存方法や販売手順をしっかり考えておくべきだと思います。早目の計画をお勧めします。(本城勇弥)

9組 「かずまと小さなピザ屋さん」

餃子生地のピザ。餃子の皮の上に野菜やウインナー・チーズを乗せて焼く。「どのようにすれば効率がよいか」を考えました。焼くのに時間がかかり、冷めてしまうとおいしくなくなってしまうため、焼く時間がかかるピーマンはできるだけ小さく切ったり、あらかじめ軽く焼いておいて、温めればすぐに食べられるようにしたりしました。(田嶋 晃)

第2回スポーツ大会速報!

優勝:1組 準優勝:6組 3位:2組 …おめでとうございます!!

女子のフットサルもヒートアップ!?



SSH活動報告

1年SSHクラスでは、企業連携のプログラムがあります。自分たちで企業を探し、夏休み等を利用して訪問します。どの企業の方も、快諾してくださり丁寧に対応してくださいました。生徒たちは、企業の技術力に触れ多くのことができ、学校での学習が社会の中でどのように生かされているのか知ることができました。自分たちが得てきた知識を、建学祭とSSH成果報告会で、ポスター発表しました。

アカオアルミ株式会社

1年10組 藤丸 かれん

金属の中で身近な、「アルミニウム」について知りたいと思ったので、私たち4人はアカオアルミ株式会社を訪問しました。アルミは軽くてリサイクル性が高い優れた金属です。製造工程を見学させていただき、工場の音、暑さなど肌で感じる事ができ、今までに見たことのないほど高度で大規模な技術に関心を持ちました。

発表に関しては、先生、TAの先輩、クラスメートからのアドバイスをもらいました。練習を重ねていくうちに少しずつ上達していききました。ポスター作成も意見を出し合い、力を合わせて作り上げていくことにやりがいを感じました。そして仲間と共に協力し教え合うことで、お互いの能力を高めることができました。企業連携の発表を終えた時に、大きな達成感と収穫の喜びを感じました。この経験を生かし積極的に活動を進め、次へのステップにつなげていきたいと思えます。

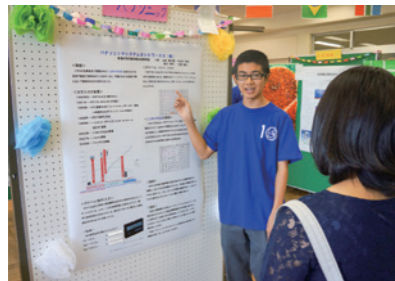


技術力の高さに驚きました

株式会社フォトン

1年10組 清水 梨華

私たちの班は、ハイスピードカメラなどを扱う会社に行ってきました。ハイスピードカメラが主にどのような場所で活用されているのかを教えてくださいました。また、実際にハイスピードカメラでの現象の撮影、画質の修正を見学することができ、理解が深まりました。今回の発表は、聞き手にいかにわかりやすく伝えていくかという点が難しく、一番苦労しました。発表をしてみても、多くの反省点が見つかりました。ポスターに関する反省点は、ポイントとなる場所に色を付けて強調すること、文字数の削減です。発表の反省点は、相手が聞き取りやすいよう十分間を持たせて話すことができなかったことです。次回プレゼンをするときは、今回の反省点を改善し、より良いものにしていきたいです。



建学祭で多くのお客さんに発表しました

日本海洋掘削株式会社

1年10組 大筒 望

私たちの班が訪問した企業は、日本海洋掘削株式会社という海の底に眠る海底資源の掘削をする会社でした。最初、私は掘削と言われても、どんなもので掘って、何を掘り出すのかなどわからないことばかりでした。しかし、実際に見学に行き説明を聞くと、とても興味深いものばかりでした。パイプや回転力を与える機械、洗浄機や泥水を扱う機械、そしてその機械と作業員を乗せる「リグ」など、たくさんの種類の物の説明や勤務体制を聞きました。後から知ったことなのですが、海洋資源を掘る会社は、日本でここしかないそうです。とてもいい勉強になりました。しかし、それをポスターに上手くまとめて、聞き手がわかりやすいように話したり、飽きないようにクイズを入れるなどの作業がとても大変でした。何度もセリフの暗記をしました。でも、発表になると自然と話すことができました。企業連携のおかげで、人前で発表することに免疫が付き、発表することが好きになりました。



SSH成果報告会で先生や先輩に発表しました

TOKAI キャンパスメッセージ

エネルギーについて考えてみませんか

東海大学工学部原子力工学科 伊藤 敦

原子力エネルギーは本当に不要なのだろうか。福島原子力発電所の事故以後、原子力利用あるいは放射線の影響について国民の多くが関心を持ち、インターネットの普及もあって自分の意見を容易に発信できるようになりました。全く正反対の意見もみられます。しかも、専門家と言われる人々の間でも意見が分かれている場合があります。このような現状から言えることは、自らの主張にあつたような情報が取捨選択されている可能性が高いということです。しかし、科学的に裏付けられた情報は必ずあるはず。原子力工学科では、今回の事故の教訓を踏まえて、原子力はどうかあるべきかを学生とともに考え、原子力・放射線という20世紀に人類が発見した「火」について正確な知識と取り扱い方を身につけ、その無限の力を社会で安全に活用できるような人材を育てることを目標としています。

分、再処理など原子力発電技術と未来のエネルギーである核融合を学ぶ原子炉工学分野

2) 原子力とは切っても切り離せない放射線の医療、工業、農業などへの利用、それに必要な放射線の測定技術を学ぶ放射線応用分野

3) 原子核の持つ莫大なエネルギーを効率よく変換する技術や材料を学ぶ、エネルギー変換・材料分野

原子力、放射線は危険なものです。これらを使いこなす高度技術を修得する教育のために学科ではさまざまな工夫をこらしています。

1) 実習を重視した教育を行います。学内での放射線実験、学外の原子炉を使った実習、原子炉施設見学などを各学年で行います。放射線被ばくは心配するには及びません。学生すべてに厳格な放射線管理と健康診断が義務づけられています。

2) 放射線取扱の国家資格取得をサポートします。放射線の実習と講義によって身につけた知識を確実なものとするために放射線取扱主任者という国家資格の

受験を積極的に勧めています。この資格をとった学生の就職率は100%です。なお、資格をとらない場合でも就職率は工学部平均を上回っています。これは福島原発事故以後も変わりません。東海大学原子力工学科は日本で一番早く原子力教育を始めた歴史ある学科です。4,000名に及ぶ多くの卒業生が社会で活躍しており、学生の就職をサポートしてくれています。

3) 理科の免許が取得できます。原子力・放射線は物理、化学、生物、情報科学と多くの知識を必要とする総合科学です。そのため工学部では数少ない中学・高校の理科の免許が取得できます。

その他に、「原子力マイスターコース」を設け、希望者にはさらに高度な教育を行っています。

福島事故以降、原子力が本当にどのようなものなのかを、自分の目で確かめてみたいという意欲を持つ学生が増えてきました。福島の除染実習やボランティアに参加する学生もいます。私たちと一緒に原子力を通して、エネルギー問題、環境問題にチャレンジしませんか。

原子力工学科で学ぶ

太田 一樹

東海大学工学部原子力工学科2014年3月卒業(高輪台高校2010年3月卒業)

私が原子力工学科へ入学した理由は、単純に放射線というものに興味を持ったからです。たったそれだけの理由で、迷わず原子力工学科に決めました。

原子力工学科では、その名の通り「原子力」をはじめとして「放射線」、「エネルギー」などについて学びます。

1年生では、基礎的な物理や数学、化学を学びます。また、放射線とはどんなものであるか?ということから始まり、放射線に関する基礎的な知識についても学んでいきます。2年生になると、放射線計測や放射線の性質について実験を通してより詳しく学びます。3年生からは「原子炉物理」などの講義を通し、原子力について専門的に学んでいきます。また、講義の一環で原子力関連の施設や研究機関を見学

する機会も用意されています。4年生では、それまでに学んできたことの集大成として卒業研究を行い、最後に研究発表を行います。

また、学科では国家資格である「放射線取扱主任者」の試験合格を一つの目標としており、先生方も合格に向けて丁寧に指導をさせていただきます。そのおかげもあり、私も在学中に試験に合格することができました。

原子力工学科を卒業し、現在は放射線測定器のメーカーに勤めています。自らの興味があることを一生懸命勉強した結果として、興味のあることを

仕事にできていることに私は幸せを感じています。

皆さんも大学では自分の興味がある学科を選び、学んでいってください。そして、もしも「原子力、放射線、エネルギー」に興味を持っているのであれば、ぜひ原子力工学科へ来てください。この先、多くの先輩ができることを楽しみにしています。



高輪台高校卒業の先輩方(中央が太田さん)

お知らせ

高校3年生特別講座開始

自ら学び、探求する姿勢を大切に!!

期間 12月9日(火)～1月31日(土)

目的 大学の授業に備え、高校時代に身につけておかなければならない知識などを、これまでの授業とは別の角度から学ぶ。

大学では、1人ひとりの学ぼうとする姿勢が高校以上に大切です。学習に対するしっかりとした姿勢を身につけましょう。

中等部吹奏楽部 第6回定期演奏会

日時: 12月28日(日) 14:30 開場 15:00 開演

場所: 高輪区民センター 区民ホール(白金高輪駅下車出口1を出てすぐ)

入場料: 無料(要整理券・高輪区民センター窓口にて配布中)

1年間の集大成として部員一同頑張りますので、ぜひ聴きにいらしてください。

行事予定

December 12月

January 1月

- 1日(月) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(火) **卒業試験(高3～12/5)**
後期中間試験(中等部～12/3、高校～12/5)
- 4日(木) 中等部スポーツ大会(午前:アリーナ)
キャリア教育(午後)
- 5日(金) 中等部校外活動(中1:落語・中2:日本科学技術館・中3:文楽)
- 6日(土) 中等部3年保護者会
高校3年自宅学習日
- 7日(日) **高校受験生・保護者学校説明見学会(5回目)**
- 8日(月) 答案返却日(高3)
- 9日(火) 特別講座開始(高3～1/31)
校医相談日
- 12日(金) 中等部三者面談開始
- 15日(月) 生徒自宅学習日
- 18日(木) マナー講座(高3)
- 19日(金) 月曜日の授業
- 23日(火) **天皇誕生日**
- 24日(水) 午前中授業 火曜日の授業 冬期休暇前諸注意・大掃除
- 25日(木) 冬期講習(～27日)

- 6日(火) 新春懇親会
- 7日(水) 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 8日(木) 2年生学年集会(中等部・高校)
- 11日(日) **中等部受験生・保護者学校説明見学会(5回目)**
- 12日(月) **成人の日**
- 14日(水) 専門医によるカウンセリング
- 15日(木) 生徒による授業評価アンケート
高校入試推薦願書受付
- 16日(金) 漢字検定(希望者)
- 17日(土) 数学検定(希望者)
- 20日(火) 中等部入試願書受付、
第1回(～1/31)・第2回(～2/2)・第3回(～2/4)
校医相談日
- 22日(木) **高校推薦入試** 生徒自宅学習日
Tokyo Sightseeing Tour(中等部1年)
- 23日(金) 高校推薦入試合否発表
英語検定(中等部)
- 29日(木) 中等部3年卒業試験(～31日)
- 31日(土) 高校3年特別講座終了

生徒会演説会



編集後記

今年も残すところ1カ月となった。振り返るといろいろな出来事があった。4月には消費税率が8%にアップ、韓国では旅客船が沈没し多くの修学旅行生が犠牲になった。8月に起こった広島市の土砂災害、9月の御嶽山噴火など自然の猛威を改めて実感させられた年でもあった。明るい話題としては、青色LEDの発明で日本人3名がノーベル物理学賞を受賞したことだ。冬のイルミネーションの季節が訪れLEDの普及は街を賑やかにし、心を和ませてくれる。忙しさの中でせめて気持ちには余裕を持って過ごしたいものだ。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>